

アフリカ平和再建委員会 活動レポート

<http://www.arc-japan.org>

2023年 春号



4月7日はルワンダのジェノサイド開始から29年の日でした。来年は30年の節目となります。30年間、ルワンダとともに活動し、見つめてきたARCです。これからもルワンダの人たちとともにがんばっていきたいと思います。

ルワンダ子ども支援基金—Nature Nursery Schoolの近況



ARCの「ルワンダ子ども支援基金」プロジェクトでは、現地法人 Five Holy Pillars Organization (FHPO) を通じ、同法人が運営する Nature Nursery Schoolに通う子どもたちを支援してきました。対象となる子どもたちは、生徒たちの中でも低所得層の家庭の子どもたちです。ルワンダでは世帯を所得によって段階づけしています。その中で低所得世帯に該当する家庭の子どもたち約30人の就学支援をしています。

しかしコロナ禍などの影響で、Nature Nursery Schoolの学校運営は困難に陥りました。しかしFHPOはARC支援の子どもたちを別の学校に通わせる手配をしてくれていて、皆様からのご支援は、現地に届けており、子どもたちの就学支援に使わせていただきました。

しかしコロナ禍も落ち着いてきたルワンダで、FHPO理事長のエイマブルさんは、Nature Nursery Schoolを9月に再開校させるべく、準備を進めております。

現在、校庭や教室の整備を行っており、また国内外のボランティアを受け入れるための「ボランティアスタッフルーム」も整備していました。ARCの学生インターンスタッフも、Nature Nursery Schoolでボランティア教員として活動する準備を進めています。

またNature Nursery Schoolで子どもたちが元気に通学する姿を見るのが楽しみです！



校庭を整備中です
奥のスペースも教室にする予定です



学校再開に向けて取り組むFHPO理事長のエイマブルさん（中央）と創設者のひとりイルデフォンスさん（左）。がんばりましょう！

ルワンダ子ども支援基金

ーオンラインでご寄付いただけるようになりました！

これまでルワンダ子ども支援基金にご寄付をいただく際、郵便振替用紙にご記入いただき、郵便局の窓口かATMでお振込みいただいておりますが、このたび、クラウドファンディングサイトのReadyForの定額寄付サービスによって、オンラインでご寄付いただけるようになりました。

郵便局までご足労いただくこともなくなりますので、ぜひこちらをご利用いただければと思います。

READYFOR

キーワードでさがす



クラウドファンディングとは

はじめる

さがす

ログイン・登録

このプロジェクトでは継続的な支援を募集しています

継続寄付

#アフリカ #社会にいいこと #子ども・教育 #国際協力 #人権 #マイノリティ #発展途上国 #難民 #貧困 #新型コロナウイルス #継続寄付

【マンスリーサポーター募集中！】ルワンダの子どもたちに教育機会を

アフリカ平和再建委員会

ルワンダ子ども支援基金



低所得層の子どもたちが学校へ通うための就学支援 20年の歩み



このプロジェクトでは無期限で寄付を募集しています。「毎月」のコースで支援した場合、すでに完了した決済をキャンセルすることはできませんが、将来の決済を解約することができます。

マンスリーサポーター総計

0人

フォローする

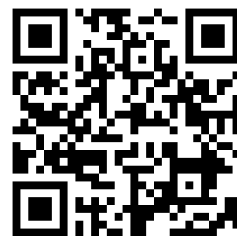
最初の支援者になります

プロジェクトの支援

シェア

ツイート

LINE



こちらを読み込んで
いただくと入れます

500円 / 月

毎月



500円コース

1年間の継続支援で、1人の子どもが1学期学校に通うことができます。
・感謝メール（お申し込み時に1回）
・デジタルクリスマスカード（年1回）

以上をメールにてお送りいたします。

マンスリーサポーターになる

1,000円 / 月

毎月



1000円コース

1年間の継続支援で1人の子どもが2学期間学校に通うことができます。
・感謝メール（お申し込み時に1回）
・デジタルクリスマスカード（年1回）
・デジタル会報誌（年3～4回）
・子どもからのデジタルサンクスフォート（年1回/1人分）

以上をメールにてお送りいたします。

マンスリーサポーターになる

2,000円 / 月

毎月



1人の子どもの支援コース

1年間の支援継続で、1人の子どもが1年間学校に通うことができます。
・感謝メール（お申し込み時に1回）
・デジタルクリスマスカード（年1回）
・デジタル会報誌（年3～4回）
・子どもからのデジタルサンクスフォート（年1回/1人分）

以上をメールにてお送りいたします。

マンスリーサポーターになる

4,000円 / 月

毎月



2人の子どもの支援コース

1年間の継続支援で3人の子どもが1年間学校に通うことができます。
・感謝メール（お申し込み時に1回）
・デジタルクリスマスカード（年1回）
・デジタル会報誌（年3～4回）
・子どもからのデジタルサンクスフォート（年1回/2人分）
・子どもたちの動画（年1回）

以上をメールにてお送りいたします。

マンスリーサポーターになる

10,000円 / 月

毎月



5人の子どもの支援コース

1年間の継続支援で5人の子どもが1年間学校に通うことができます。
・感謝メール（お申し込み時に1回）
・デジタルクリスマスカード（年1回）
・子どもたちのお礼フォト（年1回/5人分）
・子どもたちの動画（年1回）
・Thanks wallの設置（支援継続から1年後に現地の学校内に設置させていただきます）

マンスリーサポーターになる

画面上でこのボタンを押していただくとクレジットカード決済の画面にうつります。

なおご利用の際にはReadyForへのアカウント登録（無料）をしていただく必要がありますが、よろしくようお願い申し上げます。



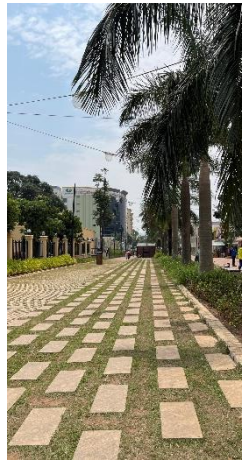
READYFOR

最近のルワンダの首都キガリー歩行者天国ができていた

2023年2月に、コロナが落ち着いて3年ぶりにルワンダに行きました。この3年でいろいろな変化がありましたが、大きな出来事として、首都キガリの中心部に「歩行者天国（Car Free Zone）」ができていたことがあります。もともと車道だったのを部分的に歩行者専用の道にしたのです。車を運転している人にとっては道を迂回しなくなりましたのですが…。聞くとところによると、ルワンダの若者がTwitterで「キガリにも歩行者天国があるといいのに」とつぶやいたのを、カガメ大統領のTwitterアカウントが「いいね！」したことから計画が始まり、あっという間に完成したそうです。通りにはベンチや民芸品店などがあり、キガリ市民がのんびりくつろいでいる姿も見られました。
（小峯茂嗣ARC事務局長）



キガリの歩行者天国に作られたモニュメント。韓国のモデルさん？の撮影クルーが撮影していました。ルワンダでは今“Visit Rwanda”という観光振興キャンペーンにも力を入れています。



学生インターンスタッフ紹介 あおみさん



今回の学生インターンスタッフの紹介はあおみさんです。東京都内の大学生で、在学中にルワンダ渡航をすべく準備中です。あおみさんは「ルワンダ子ども支援基金」プロジェクトの広報やオンラインイベントの企画、SNSでの広報活動などを担当してくれています！

ARCではアフリカや平和構築、国際協力に関心ある人たちにインターンスタッフとして活動してもらっています。経験者の多くは国際協力の現場で活躍しています（大学生でなくても参加できます）。ご関心ある方はぜひご連絡ください。

名前・学部・学年 ARCでの役職を 教えてください！

あおみ
国際学部2年
イベントの企画・運営、
SNS、バナナリーフ、
返礼品の準備・発送！



どうしてARCで活動しようと 思ったんですか？

今年の夏にゼミのツアーでルワンダに行く予定でしたが、コロナウイルス拡大により断念しました。行けない代わりに国内で出来ることを探していた際に、ARCでのインターンを知りました。小学生の頃から漠然と抱えていたアフリカの教育を改善したいという気持ちもあり、ルワンダの教育改善に携わりたいと思ったため応募しました。



大学で何を 勉強しているんですか？

国際協力を中心に社会学や国際関係学について勉強しています。アフリカ、中東地域に興味があるため、特にその地域の文化や政治も学んでいます。また、少しでも現地の人に寄り添いたいという思いから、第2言語としてアラビア語を学んでいます。



この投稿を見ている 皆さんに一言！

ルワンダの子どもたちが大きな夢や希望をもてるよう、そして次の世代へと繋ぐサポートが出来るように頑張ります！
よろしくお願いいたします！



イベント報告 2月24日「アフリカ×教育」

アフリカ×教育

～平和な未来を作るために
子どもたちが学校に行くことの
大切さを考えよう～

【日時】

2月24日(金)

19:00～20:30

オンライン(zoom)開催



登壇者：小峯茂嗣
ARC事務局長

2月24日、「アフリカ×教育～平和な未来を作るために子どもたちが学校に行くことの大切さを考えよう～」をオンラインで行いました。

この日の様子は録画したものをYouTubeでご覧いただけますので、下記のQRコードからぜひご覧ください！

この日は「ルワンダ子ども支援基金」プロジェクトを始めた経緯や、今は青年となった子どもたちの様子を映像でお伝えしています。

今後も学生インターンスタッフたちが様々なオンラインイベントを企画していきますので、ホームページ、Twitter、Facebook等でお知らせしますので、ぜひご参加ください！

動画視聴はこちら→



アフリカ平和再建委員会

Africa Reconciliation Committee: ARC-JAPAN

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ511号室 Tel./FAX: 03-3351-0892

ホームページ <https://www.arc-japan.org> (お問い合わせはホームページからできます)

